スマートフォンならではの グラフ表示

鈴木晃(神戸大学)

2010年3月23日

数学ソフトウェアとフリードキュメント10 @ 慶應大学日吉キャンパス





スマートフォンって?

モバイルデバイス

- 1980年代までは電子手帳、ポケコン
- 1990年代からPDAと呼ばれるジャンルの製品が登場
 - Newton, HP200LX, WindowsCE, PSION, Palmなど
 - 2002年 Linux Zaurus登場

スマートフォン

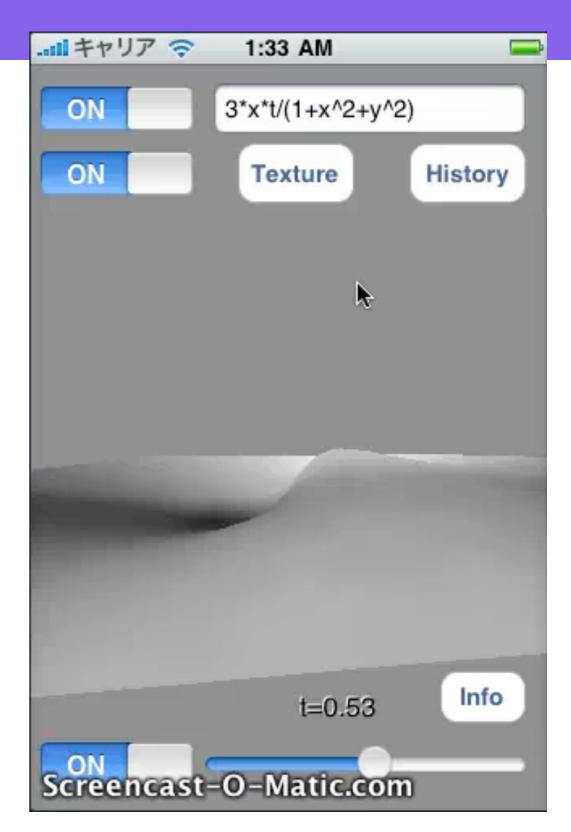
- 通信機能内蔵の「スマートフォン」が登場
 - Windows Mobile (Microsoft)
 - Symbian S60 (Nokia)
 - BlackBerry (RIM)
 - iPhone OS X (Apple)
- Android (OHA / Google)

iPhoneとAndroid

- iPhone以前は通信量が控え目
 - 例えばBlackBerryは極力パケットを使わずに高機能を実現する仕組みを備える
- iPhone以降はパケットを湯水のように使う
 - クラウドサービスを積極的に利用
 - Androidも基本的に同じ方向

どんなものを作った?

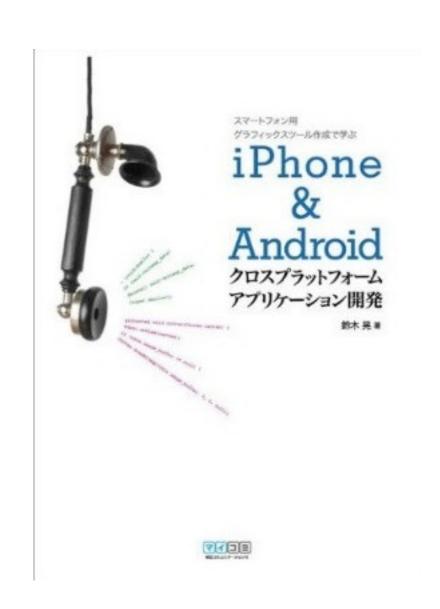
- z=f(x,y,t)を入力すると グラフを表示する
- 「3D Graph
 Surface View」



対象プラットフォーム

• iPhone及びiPod touch

最近こんな本を出したこと もあって、Androidも対象 とするつもりでしたが、 間に合いませんでした…



- iPhone 3G/iPhone 3GS
 - 電話機能、WCDMA、GPS、カメラ

- iPod touch 第1世代~第3世代
 - GPSやカメラもないが、それ以外は iPhoneと同じ

- 115.5mm×62.1mm×12.3mm / 115~133g
- 480×320 3.5inch LCD
- ARM11 (VFPにより8個float同時計算)
- 412MHz / 533MHz / 600MHz
- メモリ 128MB / 256MB
- ストレージ 4GB~64GB

- 無線LAN (802.11b/g)
- 加速度センサー
- ・マルチタッチ
- Open GL ES 1.1 / 2.0
- Objective-C 2.0 (但しGCは除く)
- OSを最新版にすれば古い機種でも最新機能を

iPhone OS

- Appleは「OS X」と呼称。BSDベース
 - マルチタスク、マルチユーザ
- Core Service (セキュリティ, SQLite, XML)
- Media (CoreGraphics, OpenGL)
- Cocoa Touch (iPhone OS独自の機能)
 - 各種ウィジェットやマルチタッチなど

AppStore

- iPhoneやiPod touchのアプリケーションを一般に配布できる唯一の方法
 - 学内、社内に配布、もしくはβテスト用の配布手段は別に 用意されている
- Appleによる審査が必要。(ポルノ/暴力禁止)
- プログラミング言語の禁止
- 有料登録(99USD/年)が必要
- 課金はAppleが代行

開発環境

開発環境

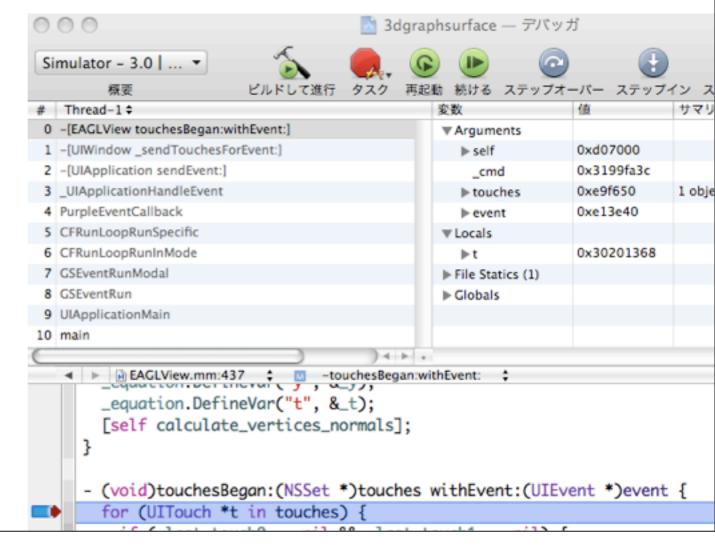
- iPhone SDKが無料配布されている
 - ここではjailbreaking環境での開発には触れません
- 2008年6月公開。
- 開発にはMac OS X 10.5 (Leopard)以降を搭載した intel Macが必要
- IDE, iPhoneシミュレーターなどを含む
- ドキュメントは豊富
- Objective-C

Objective-C++

- Objective-C 2.0 (GCなし)
 - retain, release, autorelease
 - 実はC++を使えます。STLも使えます。
 - AndroidのNDKではC++のサポートは限定的 (例外処理/STLPort)
 - エンジンはC++、API呼び出しだけObjective-Cという使い方も大丈夫

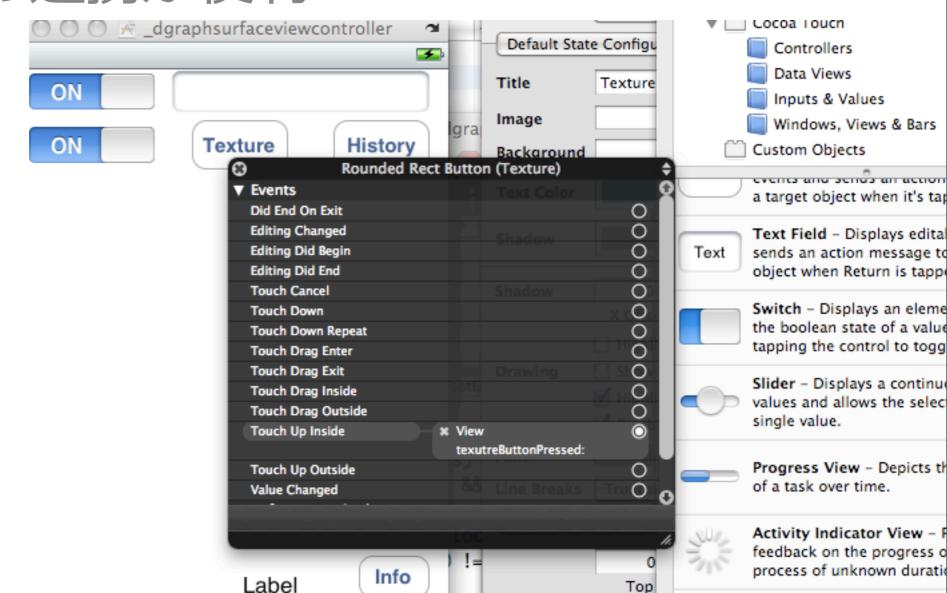
Xcode

- Objective-C++のコードを書き、ビルドし、 デバッガやドキュメントとの接続
- GCCによるアプリケーションのビルド
- GDBのGUIラッパー



Interface Builder

- 画面の設計を行うツール
- Xcodeとの連携が便利



その他のツール

- iPhone Simulator
 - エミュレータではないので、実機と動作が異なる場合も。(x86のコードで動く)
 - 加速度センサー未対応
 - マルチタッチは指二本まで
- Instrument
 - リアルタイムにメモリリークの状況の監視などが 可能

3D Graph Surface Viewで 使われている技術

OpenGL ES

- OpenGLの機能縮小版
- 3DCGとして極めて標準的な設計
- 視野の設定、視点の設定、4×4行列による物体の移動・ 変形、頂点座標の指定、ポリゴンの指定、法線ベクトル の指定、光源、マテリアルの指定など

```
glEnableClientState(GL_VERTEX_ARRAY);
glEnableClientState(GL_NORMAL_ARRAY);
// glEnableClientState(GL_INDEX_ARRAY);
glVertexPointer(3, GL_FLOAT, 0, _surface_vertices);
glNormalPointer(GL_FLOAT, 0, _surface_normals);
```

- インターフェイスはC言語
 - 頂点座標の指定にfloat[]を使うなど

マルチタッチ

- 二本以上の指を同時に認識する機能
 - iPhone/iPod touchでは5本までは認識
- touchesBegan, touchesMoved, touchesEnded, touchesCancelled
- 各メソッドにはUITouch*のNSSetが渡され、どの指がどう移動したかの追跡は、ポインタとしての比較で可能

加速度センサー

- 主に重力加速度を検知することで、iPhoneがど ちらに向いているかを判断
 - 衝撃などの検知も当然可能
- 下のコードでdelegate内で、XYZ各軸に対して どれだけの加速度がかかっているかの検知可能

数式の解釈

- 以前のバージョンでは自前で実装していた
- 新バージョンではmuParserを利用
 http://muparser.sourceforge.net/

Copyright (c) 2010 Ingo BergCopyright (c) 2010 Ingo Berg



muParser - a fast math parser library

Version 1.32







Introduction

About the parser
News
Software using muParser
Licence



About the parser

Many applications require the parsing of **mathematical expressions**. The main objective of this library is to provide a fast and easy way of doing this. **muParser** is an extensible high performance **math parser** library written in C++. It works by transforming a mathematical expression into bytecode and precalculating constant parts of the expression.

Related projects

The library was designed with

muParser使うの簡単

C++言語で書かれている (CとC#のラッパーも 用意されている)

文字列を

std::stingで設定

```
- (void)setEquation:(NSString*)eqn {
    _equation.SetExpr([eqn UTF8String*);
    _equation.DefineVar("x", &_x);
    _equation.DefineVar("y", &_y);
    _equation.DefineVar("t", &_t);
    [self calculate_vertices_normals]; 数式解釈時に"x"へ
}
```

muParser便利

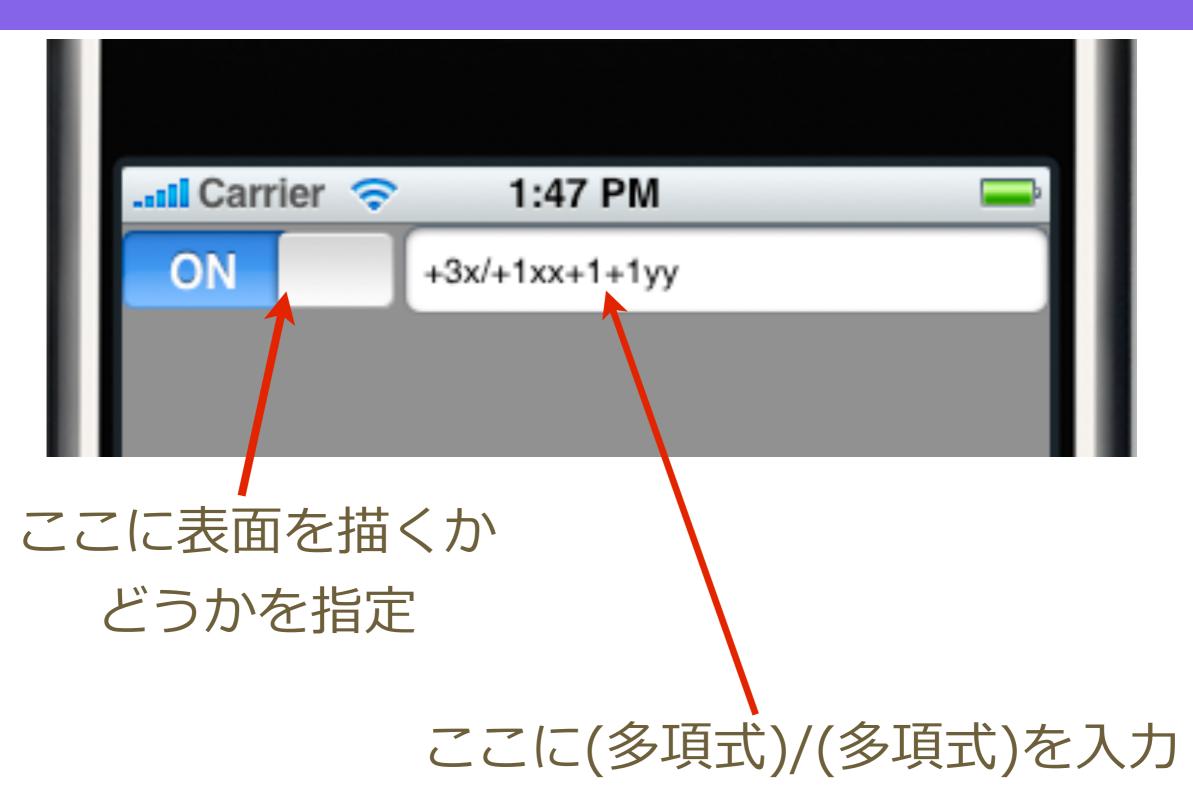
• ビルトイン関数:

sin, cos, tan, asin, acos, atan, sinh, cosh, tanh, asinh, acosh, atanh, log2, log10, log, exp, sqrt, sign, rint, abs, if, min, max sum, avg

• ビルトイン二項演算子:

3D Graph Surface Viewの 簡単な説明

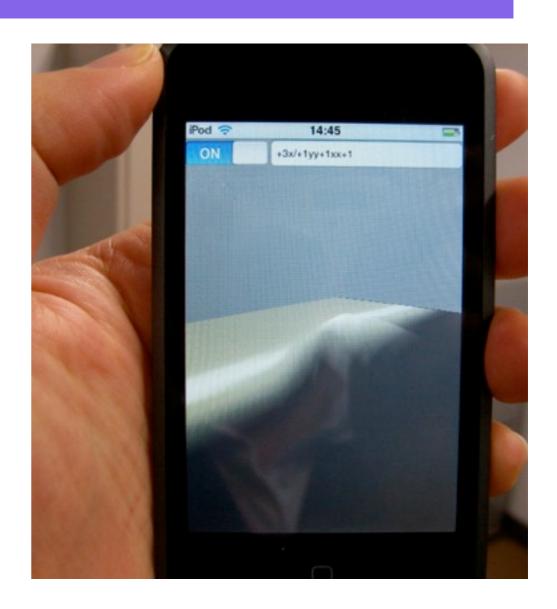
基本的な使い方



3D Graph Surface View

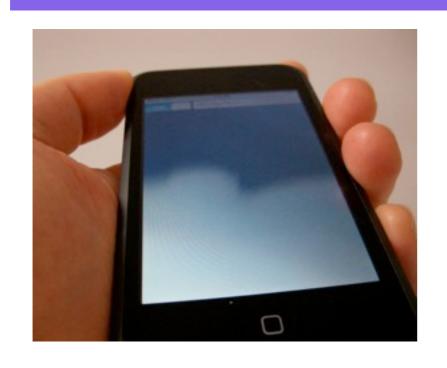






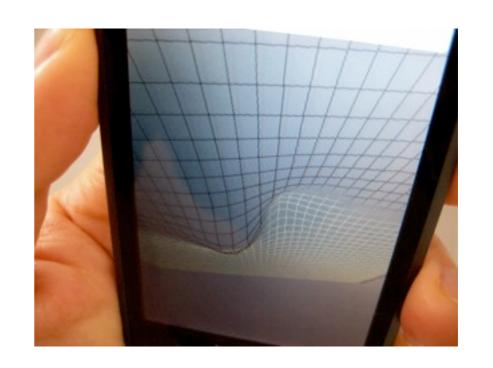
実機(iPod touch) での画面

3D Graph Surface View



加速度センサーの利用により 上から見下ろしたり 下から覗いたりが 直感的に可能





3D Graph Surface View

・デモ



やるべき/やりたいこと

- Androidでの実装
 - 無視できない国内でもSBM, DoCoMo, auが端末発表を予定
- ・軸や目盛の表示
- f(x, y, z, t)=0 の形のグラフの描画
 - 複数のグラフの交線のハイライトも